

2019年9月28日 ~ 2019年10月4日

2019年10月8日

### 先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに小幅に下落しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

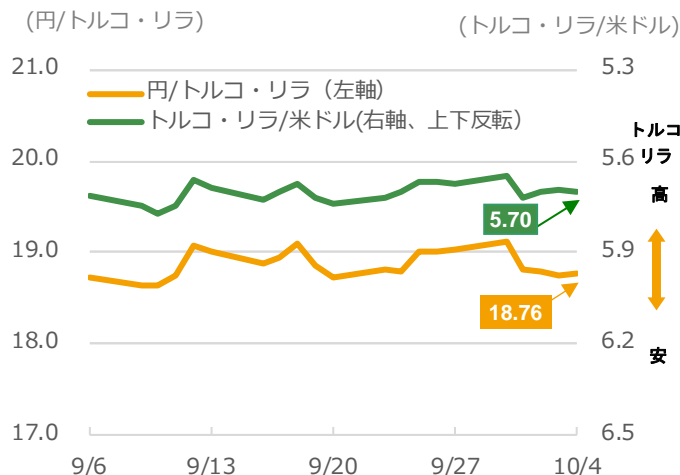
先週は、9月のCPI（消費者物価指数）が発表され、市場予想以上に鈍化しました。トルコ・リラは米国の経済指標が軟調で市場のリスク回避的な姿勢が強まった局面で売られ、対米ドル・対円ともに下落しました。国債金利はインフレ率の鈍化により追加利下げを織り込んで、低下しました。

### 今週の見通し

今週は、国内では経常収支などの経済指標が発表される予定ですが、足元で地政学リスクが浮上しています。トランプ米大統領は先週末にエルドアン大統領と電話会談を行い、発表した声明で、トルコが長く計画してきたシリア北部での「安全地帯」の設置に向けた軍事作戦を近く行うとした上で、米軍は関与も支援もしないと表明しました。シリアに展開する米軍部隊は7日（現地）、同国北東部から撤収を開始し、今後はトルコが少数派民族クルド人勢力を同地域から排除する軍事作戦に動くと考えられています。米政府はこれまでシリア北部でIS（イスラム国）と戦うクルド人勢力を支援してきたため、大きな政策転換と言えます。一方でトランプ米大統領はトルコによる軍事行動の過激化をけん制しており、米国によるトルコへの経済制裁も想起されます。今週のトルコ・リラはシリア情勢を注視する必要があると考えています。

### トルコ・リラ 為替推移

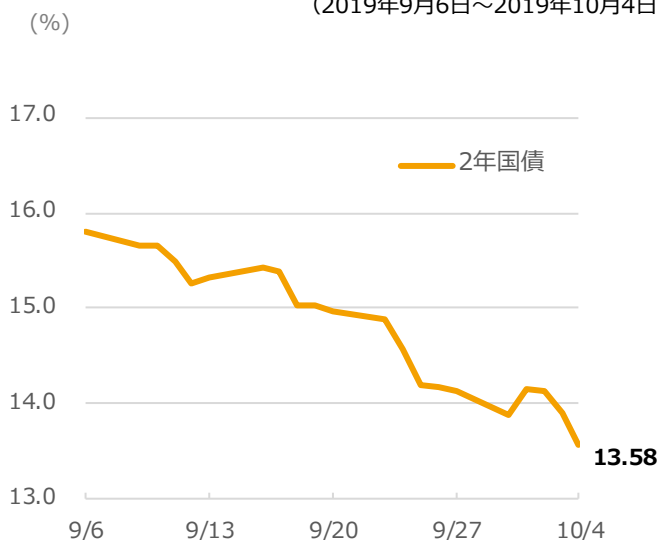
(2019年9月6日~2019年10月4日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### トルコ 金利推移

(2019年9月6日~2019年10月4日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。